

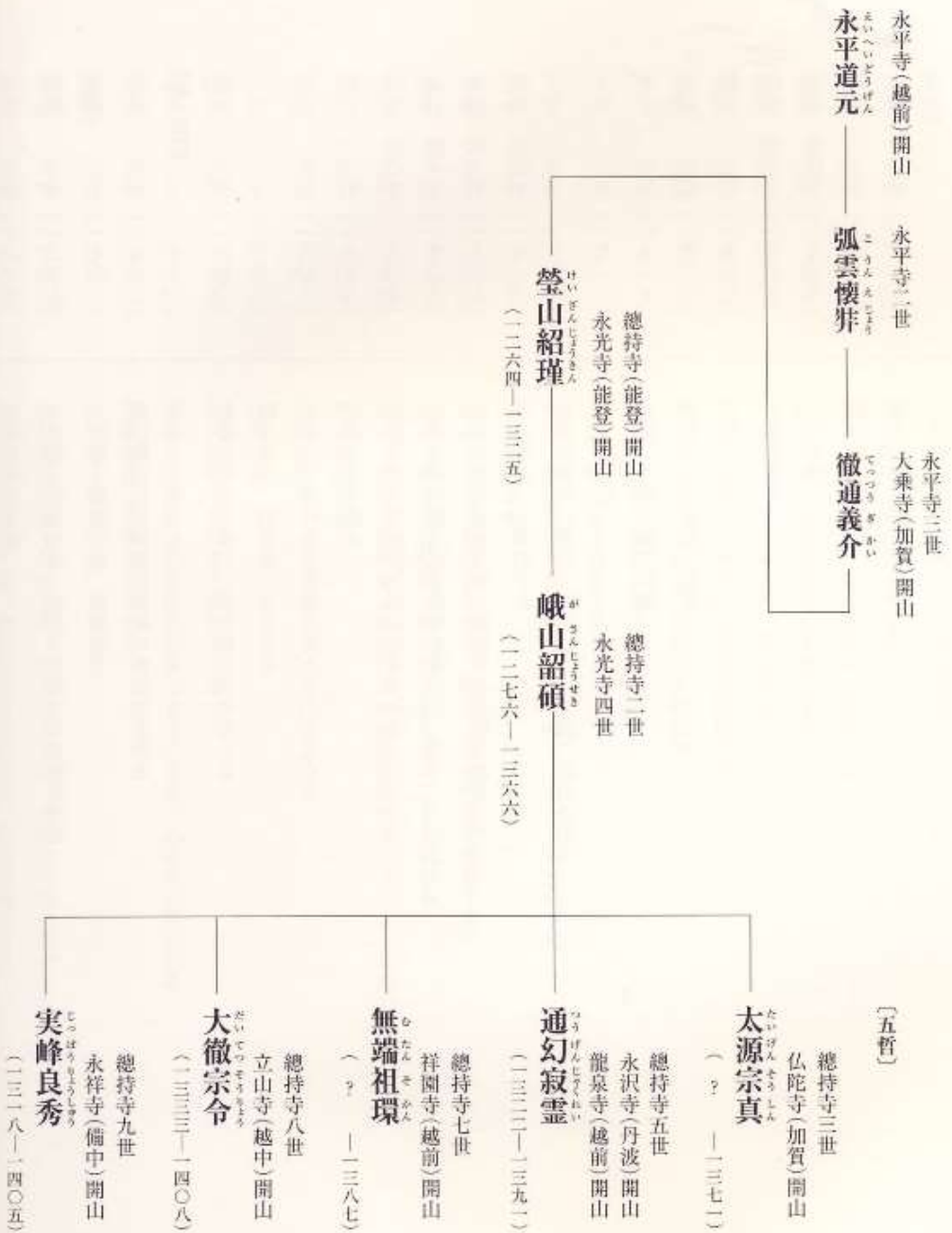
- ・愛知学院大学 第127回モーニングセミナー

# 禅の心とかたち

## ～總持寺の至宝～

鶴見大学 文学部 文化財学科教授 小池富雄  
平成28年10月11日 於 愛知学院大学 楠元学舎

總持寺法系略図





# 永平寺



總持寺  
祖院







1 總持寺全景









重要文化財

刺繡獅子吼文大法被

江戸時代

727,0 X 669,0 cm



寺外 初公開

展示期間 前期

10月15日～11月6日

# 横浜 鶴見 總持寺 仏殿 3月19-21日公開





横浜鶴見 総持寺 大祖堂  
伊東忠太設計  
千畳敷



10月10日、展示作業が始まりました。





三橋鎌岳作 鎌倉彫 獅子牡丹文前机 大正時代



H 153.0  
W 365.0  
D 60.0 cm





瑩山紹瑾座像 永光寺 ようこうじ所蔵  
鎌倉時代 正中二年(一三二五)銘  
高さ 76,4 cm



# 瑩山紹瑾像

重要文化財

鎌倉時代 元応元年(1319)自賛  
89,2 x 38,6cm



## 峨山韶碩像

福井県指定文化財。龍泉寺蔵

南北朝時代

49,3 x 31,3 cm

峨山韶碩が弟子の通幻寂霊（總持寺五世。龍泉寺開基）に印可として与えたと伝承される。

日本國北陸道能登  
 攝此庄諸岳觀音堂者  
 行基菩薩建立也當庄最功  
 加監而 觀世音菩薩  
 靈驗無雙道場也草創于舊  
 緣記紛失然而古老相傳云  
 行基建立浮屠語傳于基并  
 立伽藍必雀不築此堂自云雀  
 不築誠知行基建立靈場耳  
 於是予又不求受當寺請而  
 與行禪法于時元亨元年  
 四月廿三日晚天在國園浦井須谷高  
 感瑞夢嘗寺本為教院改欲為  
 禪院欲入院臨門前當門前  
 有亭予在亭而為鉢鉢仰觀  
 二蓋樓門也蓋上坐置般若進  
 前而入門寺僧及院主迎燈  
 鎮守三所權現一野白山 二赤山  
 同下向而接入予入門語云  
 捺持一門八字打開入門回顧

此尾山崎如今社裡南向也在此  
 如今社而又火之夢醒占云  
 當寺佛法緣甚靈傷也自  
 為法爭 聲通方外仍赴  
 此請入寺之後經三十日  
 又夢本尊自勸予云立門  
 即稱使如箭射大鴈二羽  
 飛下而在予前廣翼而在  
 左右兩翼中火白文如一文  
 字通通翼如墨夢醒見之  
 思之感應已新不可欺也  
 即時發立門願即同六月十  
 五日宣一紙于時天晴月明  
 殊御堂寶前月光頻明終取  
 筆記之同書願札令上京都  
 行房卿書額依感夢等  
 捺持寺此意也願可中其願  
 本願已行基也中真又行生也  
 額書即行房也惟史三緣  
 己和合百輩必圖成者與記錄

放光菩薩放光般若之意也  
 放光菩薩者大唐應善寺門  
 上之靈像也僧形觀音地獄二  
 菩薩也常放光明而令人敬信  
 兩尊是同故俱稱放光菩薩  
 昔帝后奴姓名時參詣祈念  
 放光頻祈 產生平安至子誕生  
 自余以後數百年大唐日本  
 白土信誓相志皆歸之祈請  
 產生平安當庄姬婦可祈之  
 靈驗必可揚焉矣為度鑿  
 記之諸人同心合力立當寺  
 山門仰圖通真應至禱至禱  
 此是神記也於禱同十六日  
 元亨元年 歲次二月  
 十七日 記殺而 披露  
 諸岳山 捺持寺中真沙門  
 釋迦牟尼佛三十四世傳法  
 瑩山 紹瑾記錄

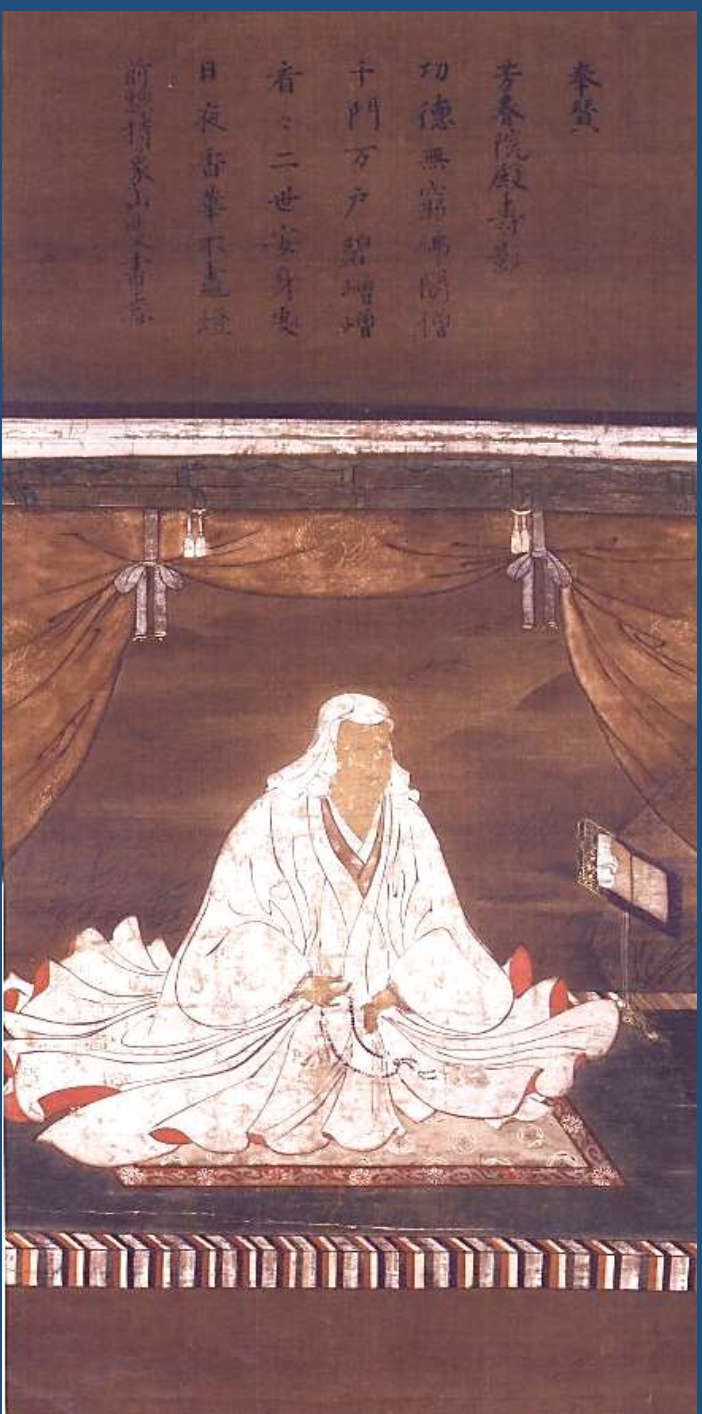
# 觀音堂緣起

瑩山紹瑾筆

鎌倉時代 元亨元年（1311）

重要文化財

32, 5 x 252, 3 cm



## 前田利家夫人像

需要文化財

象山徐芸贊（「芳春院殿壽像」）

前田利家没。慶長4年〜まつ歿

元和3年（1599）〜1617）

101,0 x 50,3cm